

I A E 非常通信実施計画

I：はじめに

I A E 生駒市アマチュア無線非常通信協力は、我々が住む生駒市に若し大災害が発生した場合、アマチュア無線の電波を生かして、市民の為に役に立つ事が出来ればと発足しました。

アマチュア無線は、防災行政無線と異なり、専用チャンネルを持たない自由度が有ると共に、無線局が生駒市内の広範囲に存在し、面としての情報収集が可能です。

大規模停電等による公共通信システムや、防災情報システムのダウンが発生している場合にも、アマチュア無線局の無線通信網で生駒市の防災ネットワークの一助が担えればとの共通理念で集まったボランティア団体です。

II：メンバーと活動地域

1. 生駒市の地形と防災拠点を考慮し、所属メンバーの主活動地域を

- ① 生駒北中学校と鹿ノ台中学校区と上中学校区（北地区）
- ② 光明中学校地区と生駒中学校区と緑ヶ丘中学校区（中地区）
- ③ 大瀬中学校区と生駒南中学校区（南地区）

の3地域に大別して、各地域の災害状況の正確な把握を行なうと共に、状況伝達を目的とした通報を生駒市の災害対策本部に移動したベース局に伝達することにより、市の把握情報を補完出来るように努力する。

2. 各地域に所属するメンバーそれぞれの非常時における状況は不確定であると思われるので、常に複数の局が協力して所属地区にある避難場所等の情報や、ハザードマップの情報を把握・共有するように努力すること。

3. 各地域をまとめる複数の代表者（コア局）は他地域の代表者とも連携し、正確な情報がベース局に伝達出来るよう協力する。

III：災害対策本部派遣ベース局

1. 非常事態において**市災害対策本部**となる生駒市役所、または生駒市消防本部（代替）において**各地域の情報を収集・総括し対策本部に伝達するための移動無線局（ベース局）**を開設・運用する為の**派遣要員が必要**となる。

派遣要員はあらかじめ各地区メンバーと協議し複数人を予定しておくものとし、災害の状況によっては予定者外のメンバーに依頼することもある。

2. このベース局派遣要員は生駒市の災害対策本部が立ち上がった際に、出来るだけ早く連絡を取り、本部ベース局の開設が出来るよう努力することとする。

IV： 災害発生時の対応

1. IAE の活動は職務ではなく、あくまでも**ボランティア**であり、まず**自身と家族の安全を見極め、周辺の状態を確かめ、可能な範囲で活動を開始するものとする。**
2. 活動可能な状態が確かめられたメンバーは、**定められている運用周波数**でのワッチに入り、相互にメンバー各局の被災状況確認を行っておく事とする。
3. 救援要請を必要とする事態が生じていることを確認した場合には、あらかじめ定められている、ベース局派遣要員に連絡しその状況を正確に伝えと共、受信した派遣要員は、その事態を市対策本部に伝えるよう行動する。
4. **震度6弱以上の地震発生の場合、**すでに対策本部が立ち上げられると想定されるため、ベース局派遣要員は相互の連絡を取り、行動可能なメンバーで、ベース局設営に急行する。
その他、生駒市より派遣の要請された際も同様とする。
この際、**二次災害防御のために万全の体制を取って出動することとする。**
5. またベース局用に準備している**無線設備**がその時点の設置場所から移動できない場合には、**派遣可能局の保有する移動無線機**（ハンディーでも可）を暫定的に対策本部に持ち込み、ベース局として運用することが出来る。
6. 無線機運用時には、対策本部内の他部署の活動に影響を与えないよう、出来るだけヘッドフォンを着用し、また「**非常通信実施中**」の表示を行うこととする。
7. また無線従事者免許証及び、マイナンバーカード・運転免許証等本人を証明するものを必ず携帯すること。
8. ベース局開設後、ベース局派遣員は**各地域メンバーの開局状況**を確かめた後は受信に入り、順次各地域から伝達される災害状況等の情報を正確に受信し、「**非常通信用紙**」に伝達事項を正確に記入するとともに、その情報を付箋紙等に転写し**地域表示地図**上に張り付け、その事実を対策本部統括班に伝達できるようにする。
9. 生駒市対策本部から要請された、**現地状況調査依頼事項**の通信に対しても同様とする。
10. IAE メンバー各局は災害対策本部派遣ベース局と直接交信出来ない地域があると判断した場合には、メンバー各局の中継によってベース局に伝送することとし、各伝達局は、「**非常通信用紙**」に伝達事項を正確に記入した上で、次局に伝達することにより、通報に誤りを生じないように努力する必要がある。
11. 現地調査を依頼されたメンバーは交信記録を残せない状況が有ると思われるので、中継局や派遣ベース局が記録した「**非常通信用紙**」等がこれに代わる。
12. 非常通信終了後は、原則的には各無線局がそれぞれ**80条報告**を行う事になるが、参加各局の情報意見を I A E 生駒アマチュア無線非常通信協力会としてまとめて報告することが出来る。

V：訓練の実施

1. IAEメンバーは、有事の際の混乱を防ぐため、訓練のための非常通信に参加し情報伝達の向上を図る事とする。
2. 災害状況等を模擬的に連絡する通報の際には、必ず「**訓練非常**」または「**災害訓練実施中**」等、**訓練であることを告知**した後、通報内容を伝達することとする。
この告知は、通報毎に行い外部傍受者に事実であると誤解を与えないようにするものである。
3. また定期的に実施される生駒市災害対策本部の訓練にも参加する。
4. 生駒市との訓練の際には、派遣ベース局を除くIAE協力局各位に事前に封書により模擬通報内容を記載した文書が配布されるので訓練開始後開封し、その通報文が正確に派遣局に伝達されるかが検証される。
5. あらかじめ指定された避難所等に調査派遣が依頼される場合には、当該施設より模擬通報内容の文書が提供されることとなる。

VI：訓練終了

1. 生駒市災害対策本部より「**訓練終了**」の合図がベース局派遣員になされた場合には、派遣員はIAE協力局各局に「**訓練終了**」の通報を行い、当訓練を終了することとする。
その後、派遣員が記載した非常通信用紙の記載内容が、模擬通報内容と同様化を確認してもらい、合同訓練を終了解散する。
2. 非常通信はアマチュア無線局にとっては**唯一許されている、業務外通信**です。
従って、ベース局担派遣員は本訓練についての報告書を作成し近畿総合通信局に報告する必要が有る。

附 則

本計画書は、状況に応じて適宜見直しを行い、各会員に伝える。

地域分けメンバー表、派遣局担当要員表、生駒市災害対策本部の設置予定場所の行路・本部配備図・アンテナ設置場所等の図面、その他行動実施に際して必要な細目を記した、マニュアルを作成し本書に付記することとする。

1. 2020/12/20 一部修正
2. 2021/1/27 修正

地区別 I A E メンバー局配備

赤色コールサインは各地区のコアー局です。

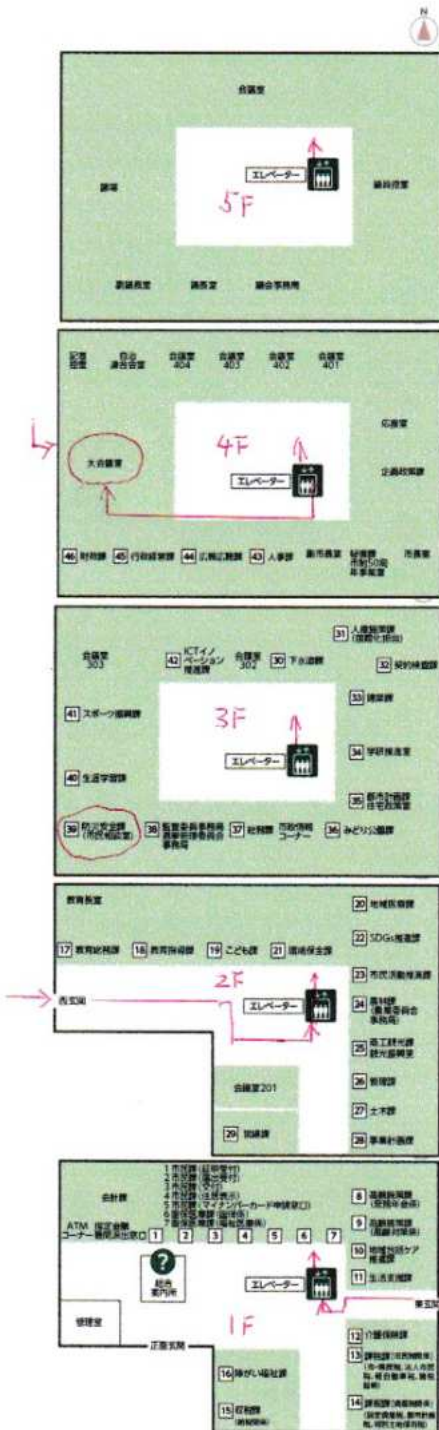
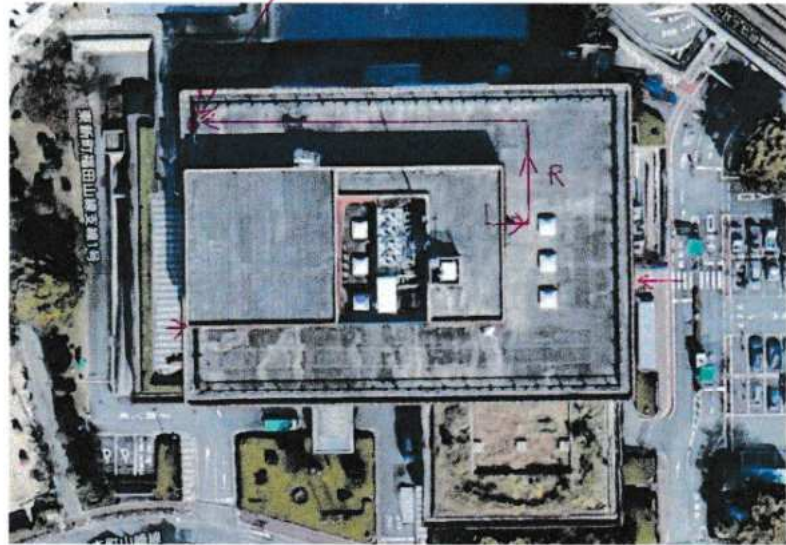
地区	コールサイン	氏名	居住地	コールサイン	氏名	居住地	所属緊急避難場所・避難所
北 地 区	JA3AZV	堅田 巖穂	真弓1				生駒北中学校
	JA3ENQ	壁谷 俊夫	あすか野北2				生駒北小学校
	JA3GJE	長谷川 暁	あすか野南2				生駒市体育協会高山S.C.
	JA3MQU	生駒 好弘	鹿ノ台北2				鹿ノ台中学校
	JA3RYS	川崎 眞治	鹿ノ台西3				鹿ノ台小学校
	JH3ISO	杉江 久男	北田原町				鹿ノ台ふれあいホール
	JH3XAS	仲川 元彦	上町				上中学校
	JH3XAT	三原 啓司	高山町				真弓小学校
	JI3EWB	中谷 藤司	上町				北大和体育館
	JF3LFL	今西 利行	鹿畑町				北コミュニティーセンターISTAはばたき
	JK3SVX	藤田 喜博	あすか野南2				あすか野小学校
近接他地区との連携活動も考慮する事!!							
中 地 区	JA3KF	江口 正	西旭ヶ丘				光明中学校
	JA3BNU	上野 修	松美台				生駒台小学校
	JA3IKE	堀口 千秋	小明町				総合公園体育館
	JA3KYX	香西 嗣人	西旭ヶ丘				生駒中学校
	JA3PAF	岡本 一男	俵口町				俵口小学校
	JH3HJD	辻本 宏	新生駒台				桜ヶ丘小学校
	JH3KHK	中野 徹	門前町				図書館
	JE3SRF	中島 仁志	生駒台南				緑ヶ丘中学校
	JN3GYJ	藤川 幸宏	小明町				生駒小学校
	JO3QCV	清水 淳一	辻町				生駒東小学校
	JQ3ATG	川島 彰	光陽台				たけまるホール
						芸術会館美楽来	
						市民体育館	
JA3ZOU	JARL生駒アマチュア無線クラブ	ベース無線局予定				コミュニティーセンター 認定こども園生駒幼稚園	
近接他地区との連携活動も考慮する事!!							
南 地 区	JA3ESH	馬場 隆一	萩の台				大瀬中学校
	JA3FNJ	樋口 幸三	壱分町東				壱分小学校
	JA3VZR	村上登志夫	萩の台3				生駒南中学校
	JH3OKA	納富 勇生	小倉寺町				生駒南小学校
	JR3BCB	上野 吉平	萩の台				南コミュニティーセンターせせらぎ
	JR3CTX	上野 政信	萩の台				むかいやま公園体育館
	JR3GWI	藤本 泰之	小平尾町				井手山体育館
	JR3UGN	瀧野 正史	壱分町西				小平尾南体育館
	JG3GRJ	山村 好春	小瀬町				生駒南第二小学校
	JL3APM	中村 恒和	有里町				人権文化センター
	JP3LKI	奥村 浩	有里町				
近接他地区との連携活動も考慮する事!!							
地 域 外	JA3PUY	奥田 隆	奈良市青野町				
	JH3DFD	辻井 平明	八幡市				
	JI3NNL	稲垣 敏夫	奈良市佐紀町				
	JQ3AZJ	深水 公基	奈良市西九条町				
運用 周 波 数	I A E メンバーが非常通信時の運用する周波数は原則として 432.56MHz とし、予備に 145.56MHz を用意する。 ベース局が 432.56MHz の交信に支障が生じた場合は、±20kHz (Sub1: 432.54MHz、Sub2: 432.58MHz) のどちらかにシフトする事とし、傍受しているメンバー局は、災害情報を伝達しようとしているメンバー局にその事実を伝える事により、ベース局への情報伝達をサポートする。 予備チャンネル 145.56MHz は主としてメンバー局同士の連絡に用いる。						



生駒市アマチュア無線非常通信協力会

生駒市災害対策本部並びにアンテナ仮設場所経路図

Ant 仮設



警戒本部/災対本部内予定配置

